

2023.6.24(土) 11:00kickoff 万博記念競技場

大阪経済大学	0	0	前半	1	4	京都産業大学	
		0	後半	3			
		得点 (アシスト)				20分	11 夏川 大和(8 中野 歩)
						52分	10 食野 壮磨
						79分	9 菅野 翔斗(16 大串 昇平)
						86分	9 菅野 翔斗(36 原田 輝)

4回戦、万博記念競技場では大経大と京産大の1部リーグチーム同士の対戦となった。20分、早い時間帯に試合は動く。京産大は自陣から浮き球をヘディングで繋ぎ、相手DFラインの裏に抜けたFW8、中野がドリブルで運んでPA内右からグラウンダークロスを送り、そのボールをPA内中央でMF11、夏川が足で合わせたシュートがゴールネットに突き刺さった。記録上前半7本のシュートで攻勢を見せた京産大が1点リードで前半を終える。後半も先に点を奪ったのは京産大。52分、PA混戦から相手がクリアしようとするところをMF10、食野が足に当て2点目となる。京産大の勢いは止まらない。79分には右サイドDF16、大串のドリブルからのパスで、途中出場のFW9、菅野が決めて3点目。さらに86分、GKから繋いでいったパスをFW36、原田が受け、巧みなドリブルで運んでいき、菅野へパス。菅野は一度は相手GKにボールを引っ掛けてしまうも、こぼれたボールを焦らず冷静に流し込み4点目。途中出場でありながら自身この日2点目を決めた。後半も相手より7本多くシュートを打ち、先発フィールドプレーヤー全員がシュートを記録するなど高い得点力を見せた京産大が勝利。京産大は全国出場をかけて、ヤンマースタジアム長居での準々決勝で阪南大との一戦に臨む。



Reported by 片岡颯真

2023.6.24(土) 13:30kickoff 万博記念競技場

大阪体育大学	2	0	前半	2	2	桃山学院大学	
		2	後半	0			
		0	延長前半	0			
		0	延長後半	0			
		10	PK	11			
48分	8 木戸 柁摩(10 古山 兼悟)	得点 (アシスト)				3分	30 東尾 大空
90分	10 古山 兼悟(3 中山 雅斗)					12分	2 奥田 勇斗

関西選手権4回戦大体大対桃山大の一戦。リーグ戦では大体大が4-0で桃山大を下しており、桃山大はリベンジに燃えている。その影響か3分、桃山大DF30、東尾がPA中央混戦の中シュートを決め名誉挽回への狼煙を上げる。続いて12分、桃山大DF2、奥田が直接FKでゴールを決める。そしてそのままスコアは動かず前半終了。後半に入ると空気が一変、大体大がボールを支配し桃山大のゴールを狙う。48分、PA左から大体大FW10、古山がグラウンダーのパスを出し、MF8、木戸が合わせ1点を取り返す。大体大ペースになったがなかなか同点弾が決まらず試合が終わろうとした90分、左サイドから大体大DF3、中山がアーリークロスを上げ、それに古山がニアで合わせ試合は振り出しに戻る。そしてそのまま後半が終了し延長戦へと続く。延長戦でも流れは変わらず大体大がボールを保持し攻め続ける。桃山大はロングボールで時間を稼ぎPK戦に望みをかける。結局試合は動かずPK戦へ。桃山大最初のキッカーは奥田。今までチームを引っ張ってきた彼が豪快に左に打ち込む。そのままキッカーは全員決めきり再度奥田がPAに向かっていく。そのまま冷静にゴールを決めるが後攻の大体大古山がはずし桃山大が準々決勝進出を決めた。

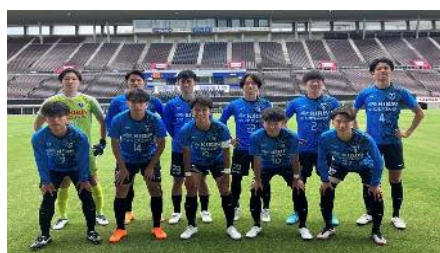


Reported by 前出和人

2023.6.25(日) 11:00kickoff ヨドコウ桜スタジアム

京都橘大学		2	2	前半	1	1	びわこ成蹊スポーツ大学
			0	後半	0		
29分	22 木村 愛斗	得点(アシスト)				12分	30 三原 弘稀
44分	5 横山 凌雅(17 中川 樹)						

京都橘大とびわこ大の一戦は、今大会の決勝の舞台でもあるヨドコウ桜スタジアムで行われた。開始からびわこ大は相手陣地でボールを支配する。一方の京都橘大もデザインされたセットプレーからチャンスを作るなど、積極的に攻撃を仕掛ける。12分、びわこ大はMF30,三原が右足を振り抜くと相手にあたってコースが変わり先制に成功する。続く15分にも、背後に抜け出したFW14,永瀬がGKとの1対1を迎えるも決めることが出来ない。すると29分、京都橘大はCKを得るとこぼれ球にDF22,木村がダイレクトプレーで右足一閃。スーパーゴールで同点に追いついた。さらに44分、右からのCKにDF5,横山がピンポイントで頭で合わせ、前半のうちに逆転に成功する。1点ビハインドのびわこ大は、HTで一気に3枚交代で勝負に出る。しかし、再三の決定機も京都橘大の守備陣が足をつりながらも決死の守備でゴールを許さない。87分、びわこ大は交代出場のMF16,一村が左足を放つも枠を捉えることができない。そして、そのままスコアは動かず2-1で試合終了。京都橘大は1部チームを相手に堂々の勝利。2部で唯一4回戦で勝利をあげ、初の全国大会出場まであと一歩となった。



Reported by 木村太一

2023.6.25(日) 13:30kickoff ヨドコウ桜スタジアム

関西学院大学		1	1	前半	0	1	近畿大学
			0	後半	1		
36分	10 倍井 謙(18 森 雄大)	0	延長前半	0	90+4分	14 小幡 慎之介(9 高橋 海輝)	
		0	延長後半	0			
		5	PK	4			

関西選手権4回戦関学大対近畿大はヨドコウ桜スタジアムにて行われた。関西学生サッカーリーグでは関学大は1部で首位。対して近畿大は2部で6位。だが、試合は学生リーグの順位を裏返すような展開となった。試合開始早々、関学大が猛攻を仕掛ける。36分、関学大はMF18,森がPA右サイドまでドリブルで駆け上がり中へ低弾道クロス。ボールは近畿大DF陣の間を抜けて関学大MF10,倍井の元へ。倍井はフリーな状態でダイレクトでクロスに合わせシュート。ボールはネット右側を突き刺しゴール。その後はスコアが動かず、後半が始まり近畿大も負けじと猛攻を仕掛けるが中々ゴールマウスを割ることが出来ない。このまま試合が終わるかと思われた90+4分、近畿大FW9,高橋がPA左サイドからPA中央にいるMF14,小幡にパス。小幡はボールをギリギリの所で触ることができボールはゴールに吸い込まれた。劇的な同点弾を決めた近畿大は盛んに盛り上がりそこで後半終了。すぐさま延長が始まるが、両チームGKがゴールを守り続けPK戦に。PK戦では試合でも大活躍した関学大GK22,成田が近畿大2人目のPKをビッグセーブ。そのあと両者5人目まで蹴り全員が決め、関学大がPKを制し準々決勝進出。近畿大は1部首位の関学大を苦しめることが出来たもののあと一歩届かず4回戦敗退となった。関学大は近畿大の思いを背負い準々決勝に挑む。



Reported by 日用結翔

2023.6.25(日) 11:00kickoff たけびしスタジアム京都

同志社大学		2	0	前半	0	0	大阪学院大学
			2	後半	0		
84分	3 小山 凌(4 金沢 一矢)		得点 (アシスト)				
88分	44 中山 織斗(10 戸坂 隼人)						

1部リーグ同士の対決となった関西選手権4回戦。リーグ戦では、6位の同大と7位の大院大とどちらも負けられない一戦は、たけびしスタジアム京都にて行われた。蒸し暑く、コンディション調整が難しい中、負けたら終わりということでお互いの熱い気持ちが伝わり、試合開始から両チームの攻撃がぶつかりあい、ピッチ内外ともに熱気を帯びていた。大院大は序盤前線から積極的にプレスをかけ、同大のミスを誘う。対して同大は、落ち着いてボールを保持し、粘り強い守備でカウンターを狙う。両者慎重な立ち上がりを見せ、前半は得点がないまま終了。後半に入り、大院大がいくつかチャンスを作る場面が増えたが、84分、ようやく試合が動く。同大DF4,金沢からDF3,小山が合わせ、DFコンビで同大が先制点を奪い取る。そして流れに乗った同大は88分、MF10,戸坂の突破からMF44,中山がシュートを決め、追加点を奪い勝利。リーグ戦でも順位を争う両チームの対決は同大の勝利に終わった。



Reported by 仲川晋太郎

2023.6.25(日) 13:30kickoff たけびしスタジアム京都

関西福祉大学		1	1	前半	1	2	立命館大学
			0	後半	1		
5分	9 鄭 健司(59 得居 大真)		得点 (アシスト)			18分	28 中野 瑠馬(25 戸水 利紀)
						74分	11 小西 宏登(25 戸水 利紀)

関西選手権第4回戦、関福大と立命大の一戦。試合が動いたのは5分、関福大MF25,日吉が右サイドにスルーパスを出しそこに反応したMF59,得居がゴール前に素早く低いクロスを上げ、FW9,鄭が左足でトラップしゴールの右下に冷静に流し込み開始早々先制点をもぎ取った。次に試合を動かしたのは立命大だった。MF25,戸水が相手自陣中央にドリブルで切り込み相手を引き付けた後左サイドにいたMF28,中野にパス。1対1の状況でカットインしゴールの左下に鋭いシュートを放ち1-1とした。そこからは両チームともチャンスを作るが、得点には至らず前半が終わった。後半開始から立命大は中野にボールを集めチャンスを作る。対して関福大は後半から交代で入ったFW10,奥村を起点に素早いボール回しで立命大ゴールに迫る。動いたのは74分、ニアサイドに走り込んだ戸水にスルーパスが出されそのままダイレクトでGKとCBの間に鋭いクロスを上げMF11,小西が冷静にゴールの左隅に流し込み2-1と逆転した。関福大は前線の選手を交代させ、試合の流れを変えようとするが立命大の集中した守備に阻まれ、なかなかチャンスを作れない。そこからは得点は動かず、立命大が2-1と接戦を制し準々決勝へと駒を進めた。



Reported by 後藤佳祐

2023.6.25(日) 11:00kickoff J-GREEN堺・メインフィールド

甲南大学		1	1	前半	1	2	関西大学
		0		後半	1		
45分	10 久保 勇大(2 越野 雄太)		得点(アシスト)			10分	17 百田 真登(7 堤 奏一郎)
						77分	9 西村 真祈(14 三木 仁太)

天皇杯でJ1相手に大健闘した関西大と昨年度4回戦のリベンジを果たしたい甲南大との一戦は、スタンドが紫紺と黄色で染まり両チーム熱い応援が響き渡る中行われた。関西大は試合開始早々、甲南大ゴールへ迫る。10分、関西大MF7,堤のCKをFW17,百田が頭で逸らし先制する。その後も関西大ペースで試合が進む。しかし甲南大DF陣に阻まれ追加点を取ることができない。そんな中、甲南大は45分FW10,久保がシュートを打ち、こぼれ球をDF2,越野が反応してクロスをあげ久保が頭で合わせ同点とする。そのまま1-1で前半終了。後半も関西大ペースで試合が進む。関西大のサイドを使った攻撃でゴールに迫るも甲南大DF陣の体を張った守備と守護神 GK1,板敷がビッグセーブを連発する。しかし、関西大は77分MF14,三木からのドンピシャのクロスからFW9,西村が頭で豪快に合わせ待望の逆転弾。なんとしても追いつきたい甲南大は、途中出場FW37,諏訪のスピードとテクニックを活かした攻撃を終盤に繰り広げるも、ゴールまでが遠く同点ゴールをあげられないまま試合終了のホイッスル。昨年度4回戦と同対戦カードとなった関西大対甲南大は、苦しみながらも関西大に軍杯があがった。この結果により関西大は準々決勝で桃山大と対戦する。

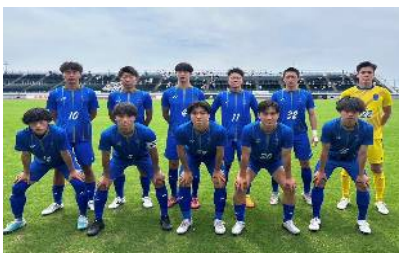


Reported by 黒田依緒里

2023.6.25(日) 13:30kickoff J-GREEN堺・メインフィールド

阪南大学		3	2	前半	0	1	大阪産業大学
		1		後半	1		
20分	10 金本 毅騎		得点(アシスト)			52分	26 池田 光希(19 大迫 武早志)
22分	8 濱屋 悠哉(16 渡邊 吏海)						
70分	15 森村 俊太(39 工藤 紫苑)						

3回戦を無失点で勝利した両チームの戦いは、雲の間から太陽が差し込むJ-GREEN堺メインフィールドで行われた。互いに一步も譲らない展開にも思われたが、試合は20分に動く。右サイドから阪南大DF40,川端がMF8,濱屋にパスを出し、PA内でシュート。そのこぼれ球をFW10,金本が落ち着いて決め、阪南大が先制する。その後阪南大のペースとなり、22分には左サイドからDF16,渡邊がクロスをあげると、MF8,濱屋が反応しシュートを決める。阪南大が2点リードで前半を折り返す。何とか1点を取りたい大産大は、52分MF4,橋本がMF19,大迫にパスを出し、交代で入ったFW26,池田が落ち着いて決め、大産大が1点を取り返す。その後互いにチャンスがあったものの得点には繋がらず、攻めては攻められるという展開だった。そんな中、阪南大は70分にMF39,工藤からのパスを左サイドで受けたMF15,森村が、PA外からシュートを放つ。大産大DFに当たりはしたものの、そのままゴールに吸い込まれ、阪南大が追加点をあげた。その後得点は動くことなく、そのまま試合は終了。阪南大が準々決勝に駒を進めた。



Reported by 上原輝